

# 磯(干潟) 観察

概 要	青少年の家周辺は、四季を通じて動植物の種類豊富な所である。キャンプ場から見て左右の高汐海岸には、多様な生物を観察できる磯がある。また、干潮の高汐海岸では、干潟の生き物を観察できる。	
ねらいとして考えられること	① 観察をとおして自然に親しむことができる。 ② 自然を理解し、海と人間とのかかわり、自然の大切さを学ぶことができる。	
対象	幼児から	
人 数	1カ所に付き40人程度	
場 所	高汐海岸に向かって左の磯場、右の磯場、海岸の干潟	
時 間	干潮の前後1時間	
指 導 員	一部指導(開始前に説明有り)	
活動時期	春～秋	
経 費	なし	
事前に準備するもの	帽子・タオル・水筒・水に濡れてもよい運動靴・軍手・観察用網・バケツ・救急用具等	
引率者の役割	活動前	① 指導員と活動内容、活動場所について打ち合わせる
		② トイレに行かせる
		③ 5分前までに集合場所に集まる
		④ 道具を渡す
		⑤ 指導員から説明を受ける
	活動中	① 危険な生物や見たことがない生物にはさわらせない。
		② 集団行動を心がけさせる。
		③ 水分補給やトイレ休憩の声かけをする。
		④ 磯場で泳がせない。
		⑤ 堤防の取排水溝周辺に近寄せない。
		⑥ 所内の動植物を大切にしよう声かけをする。
	活動後	① 採集した生物はすべて逃がす。
② 道具の確認。		
③ 海と人間とのかかわり、自然の大切さについて指導者から話をする。		
④ 人員確認する。		
安全上の留意点	① 磯場や岩場で泳がせない(水が濁って危険)。	
	② サンダルやスリッパは不可。	
	③ 磯場で走らせない。	
	④ 危険な生物や見たことがない生物にはさわらせない。	
	⑤ 水分補給に配慮する。左の磯場に水筒は持参しない方が安全。 持参する際は、堤防辺りに置いておく。	
その他		